

医療資源が限られた地域への 対応について

1

11月25日
中医協資料

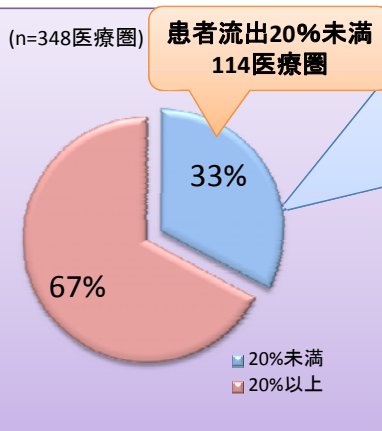
医療提供が困難な地域の考え方について(案)

地域に密着した医療提供を行う医療提供が困難な地域等において、下記の観点から地域の条件を検討してはどうか

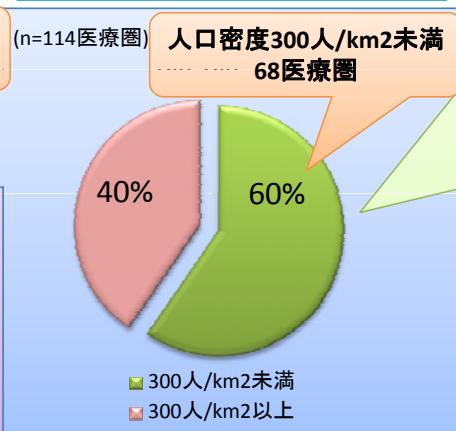
- ① 自己完結した医療を提供している地域
- ② 医療従事者の確保等が困難な地域
- ③ 医療機関が少ない地域

*ただし特定機能病院等をのぞく

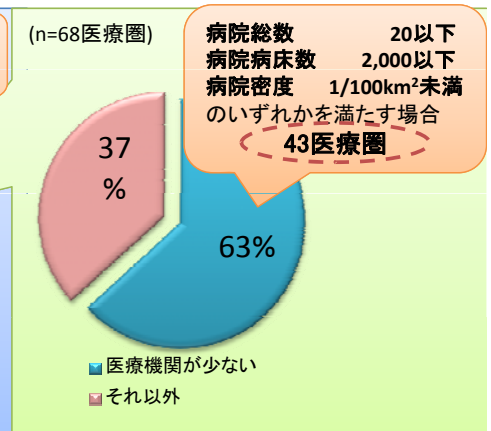
①自己完結した医療を提供



②医療従事者の確保が困難な地域



③医療機関が少ない地域



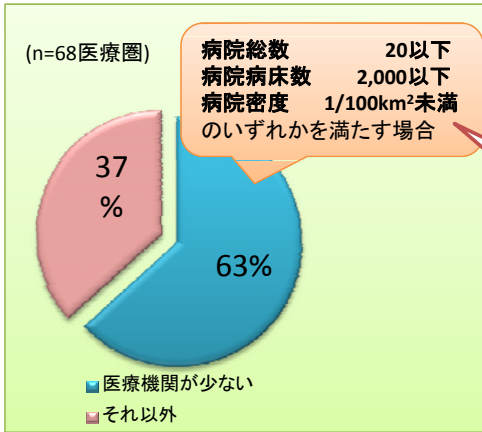
①②③を満たす43医療圏

全国の医療圏のうち	12%	全国の人口のうち	6%
全国の病院・病床のうち	7%	全国の面積のうち	21%

2

新たな基準の考え方について(変更案)

③医療機関が少ない地域



医療機関が少ない地域として、
・病院密度(面積当たり)
・病床密度(面積当たり)
を基準としてはどうか

病院総数、病院病床数が少なくても、
面積が小さければ、
一定程度医療機関の数は満たされている
と考えられる

(変更案)

①自己完結した医療を提供

患者流出20%未満

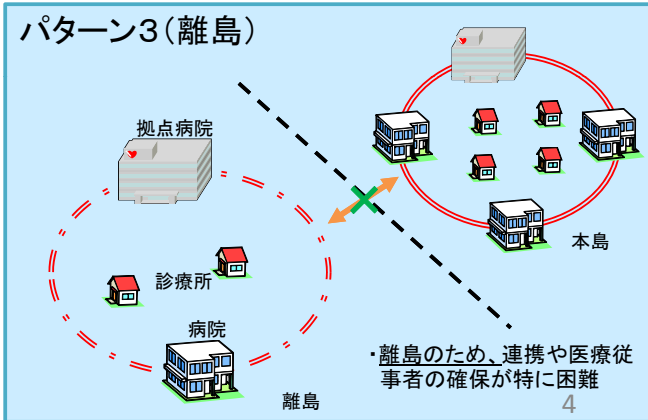
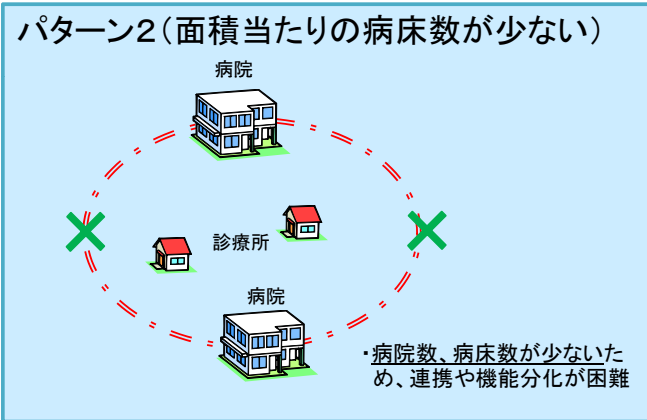
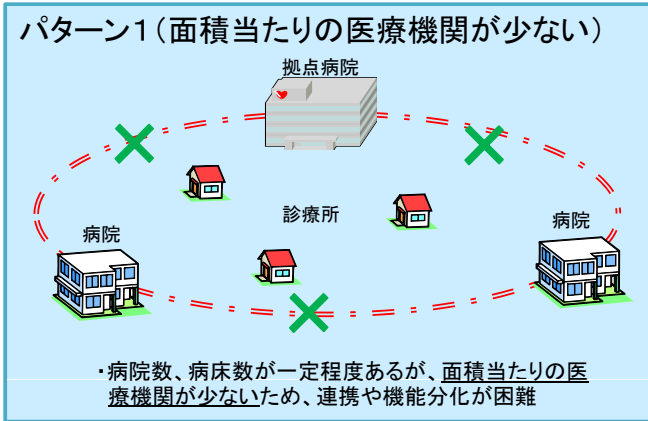
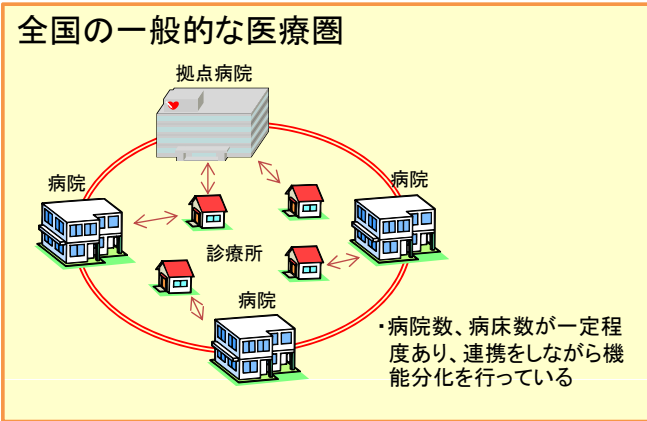
②医療従事者の確保が困難な地域

人口密度300人/km²未満

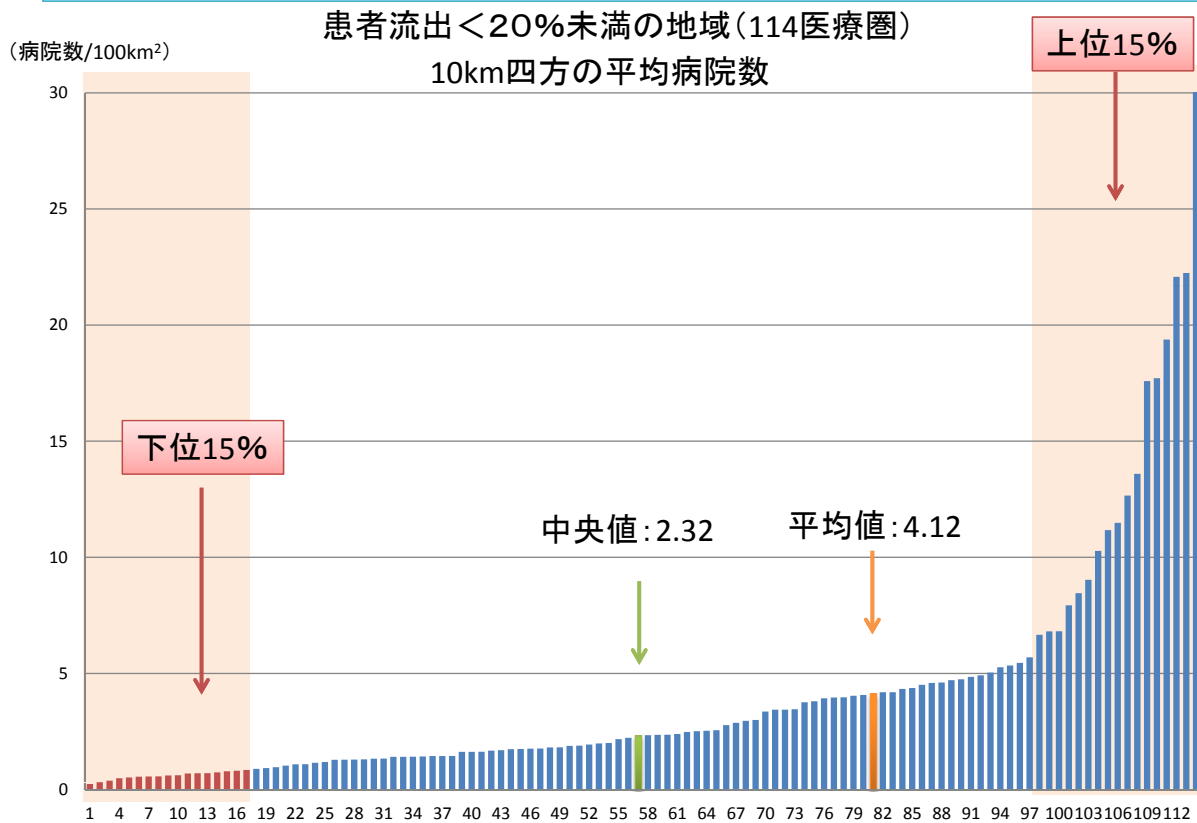
③医療機関が少ない地域

・病院密度(面積当たり)
又は
・病床密度(面積当たり)
が一定以下

新たな基準による該当病院のイメージ



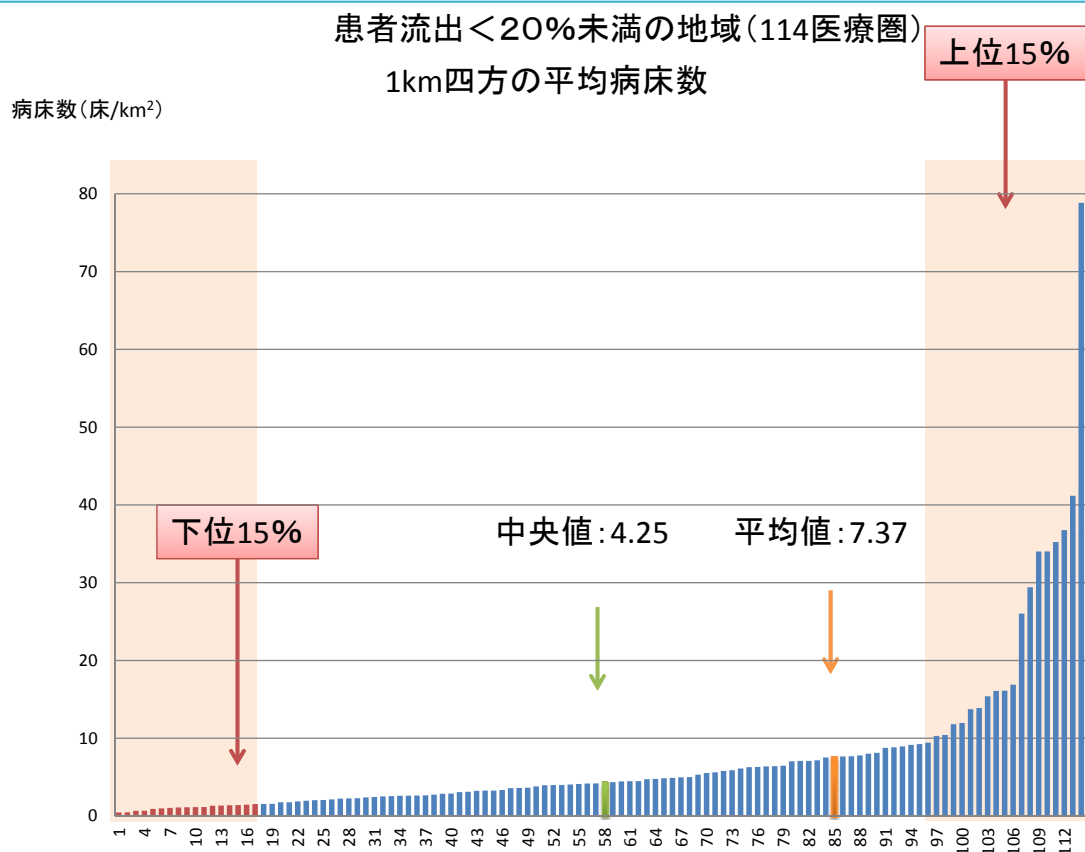
パターン1： 面積当たりの医療機関が少ない



(2次医療圏数) 出典: 保険局医療課調べ

5

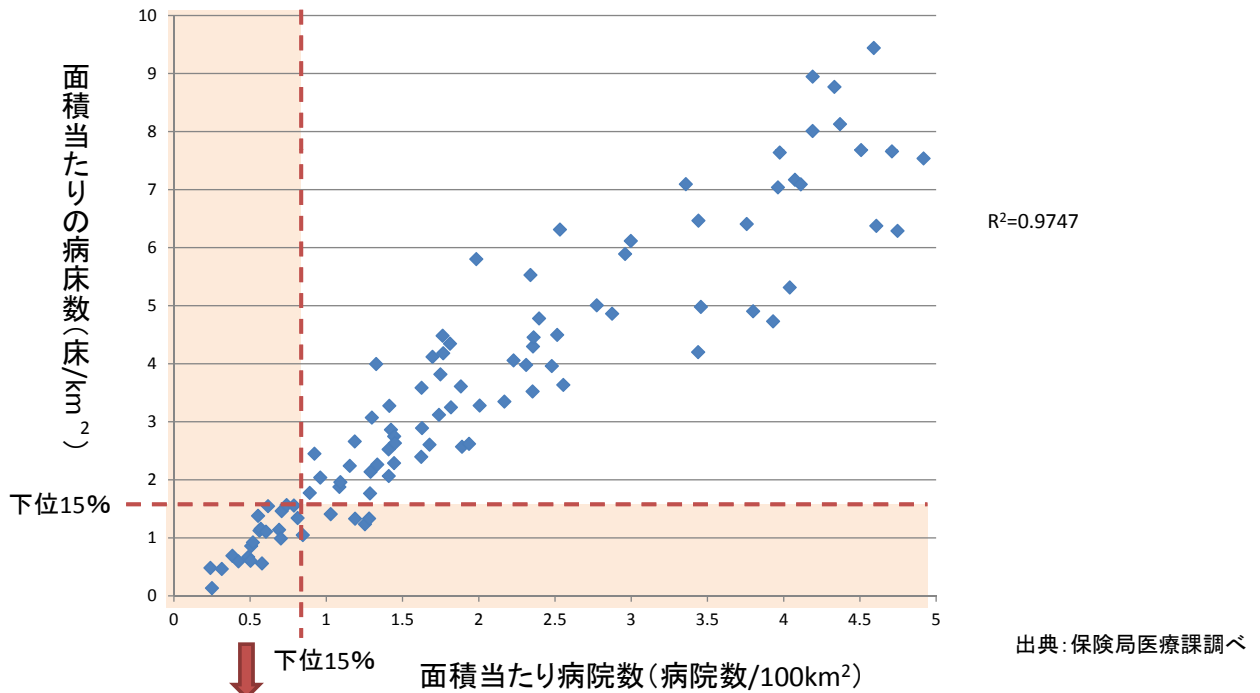
パターン2： 面積当たりの病床数が少ない



(2次医療圏数) 出典: 保険局医療課調べ

6

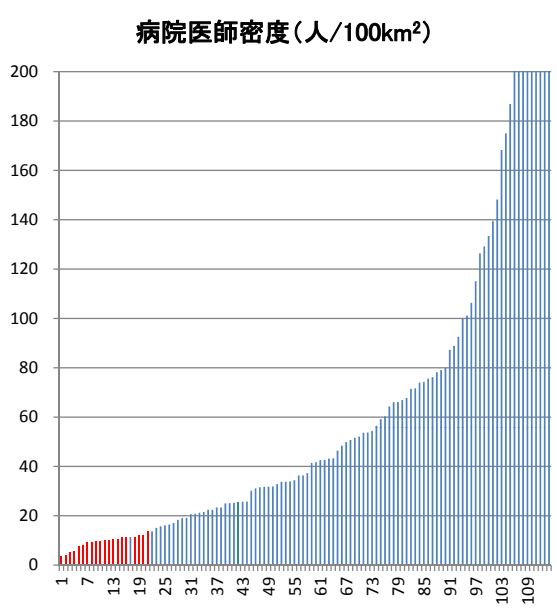
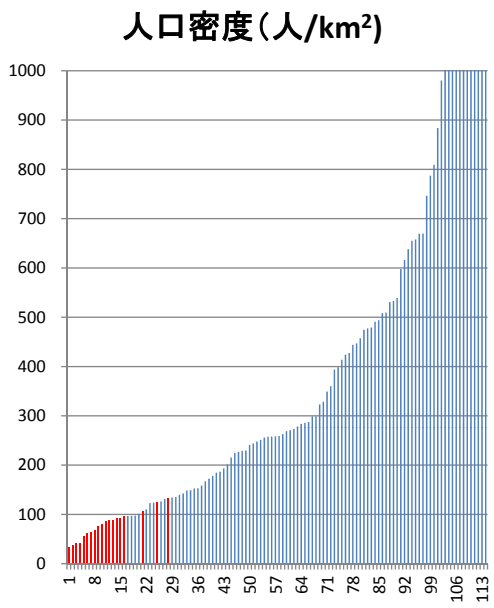
パターン1と2の関係



病院密度又は病床密度が下位15%以下の地域 : 19医療圏

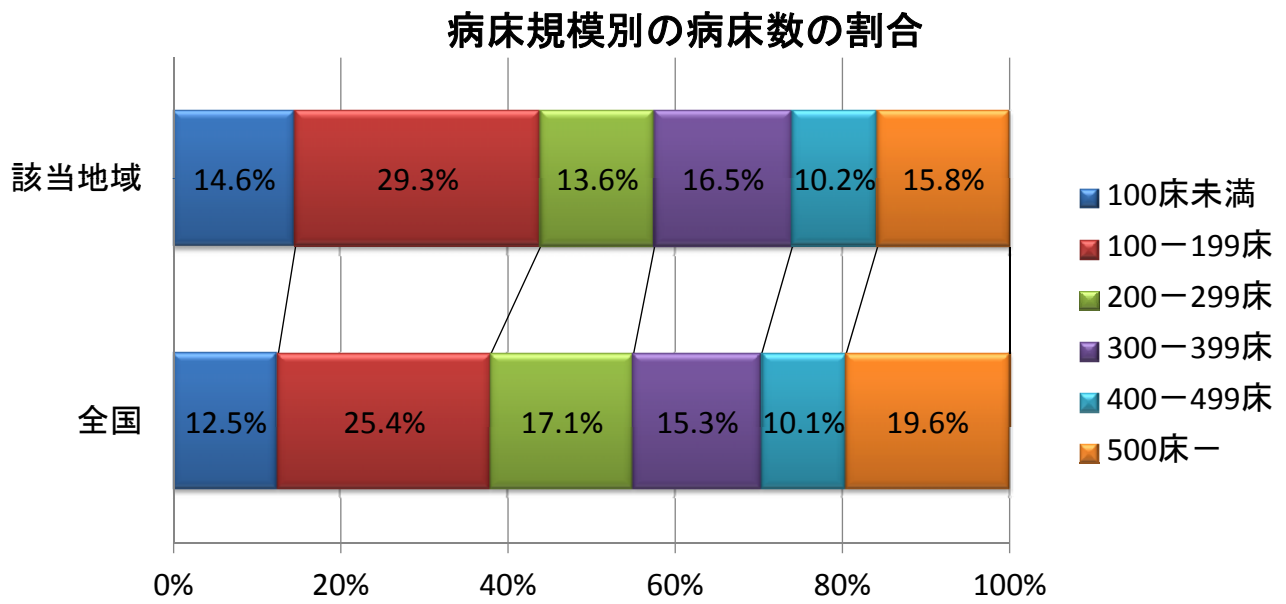
面積当たり病院数 又は 面積当たりの病床数が 下位15%の医療圏にある病院の特徴

患者流出<20%未満の地域(114医療圏)



人口密度、病院医師密度が特に低い医療圏に多い

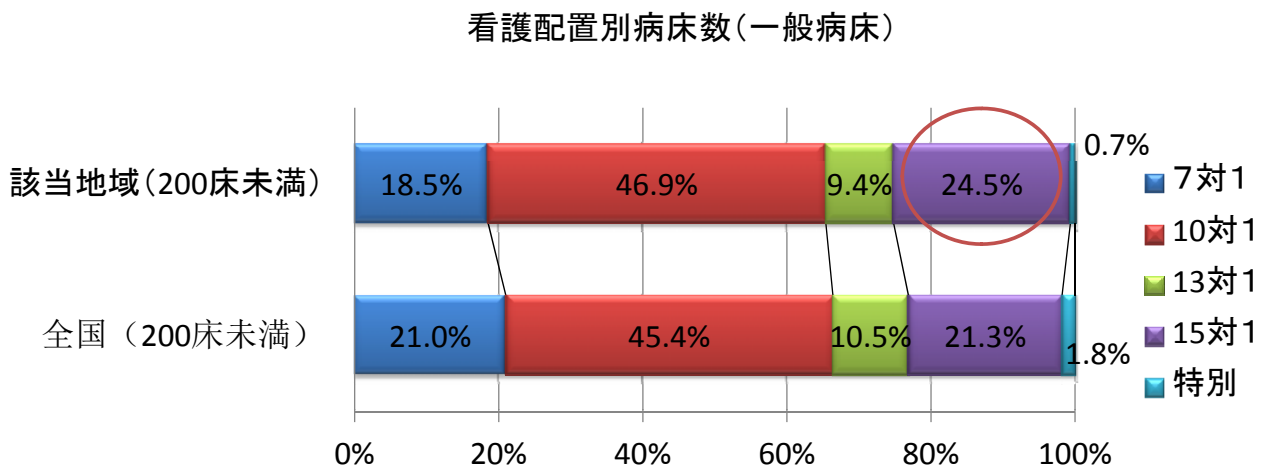
該当医療圏(離島を含む)にある病院の特徴①



該当地域では全国平均と比較して、特に100床未満及び100-199床の割合が高い

出典: 保険局医療課調べ 9

該当医療圏(離島を含む)にある病院の特徴②



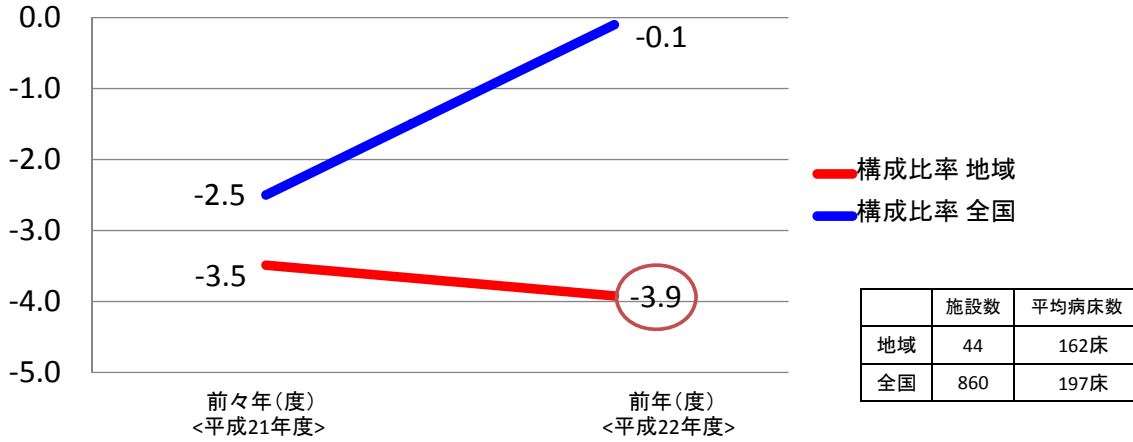
該当地域の200床未満の病院では全国平均と比較して15:1の割合が高い

出典: 保険局医療課調べ 10

該当医療圏の損益差額について

(地域:患者流出20%未満で面積当たり病院数又は面積当たりの病床数が下位15%の医療圏 及び 離島の医療圏)

損益差額 事業年度の比較



※損益差額: 医業収益+介護収益-医業・介護費用

※医療・介護収益に占める介護収益の割合が2%未満の医療機関等の集計

該当医療圏にある病院は、平成22年改定前後で低下傾向であり、全国平均と比べて収支が悪い傾向がある。

出典:第18回医療経済実態調査の報告(平成23年6月実施)
保険局医療課調べ